

両立支援コーディネーター研修とは

政府の「働き方改革実現会議」において、病気の治療と仕事の両立がテーマのひとつとして挙げられています。その中で、主治医、会社、産業医などが相互に連携して患者をサポートするシステムの必要性が指摘され、これらをコーディネートするための、医療や心理学、労働関係法令の知識を身に付け、患者、主治医、会社などのコミュニケーションの「ハブ」として機能する「コーディネーター」の育成が提案されています。

労働者健康安全機構では、平成26年度から「治療就労両立支援モデル事業」に着手しました。がん・糖尿病・脳卒中・メンタルヘルスの疾病4分野で事業を展開していますが、平成27年度に支援した事例は403例であり、支援が終了した対象者からのアンケートでは有用度94.7%という高い評価を得ています。

こうした評価の背景には「コーディネーター」の存在があります。モデル事業の中では、患者さんを中心に医療機関と職場との間で情報を提供し、仲介・調整の役割をする「コーディネーター」を養成するため、研修プログラムを作成し機構職員（看護師やMSWなど）を対象として、平成27年度から「コーディネーター研修」を実施しています。これまでに計3回開催し、91名が受講修了証を手にして各労災病院での実務にあたっています。平成29年度からは受講対象者を機構職員に限定することなく、一般の医療機関の方々などへも拡大して受け付けます。

主治医・看護師・MSWなどのチーム医療の中におけるコーディネーターは、医療機関と職場との間で情報を共有し、仲介・調整の役割を果たします。この存在は今後ますます重要な位置付けとなり、大きな期待が寄せられています。コーディネーター研修の受講者が、より多くの医療機関や産業保健関連機関に配置されることで、両立支援の普及が加速されることが期待されます。この機会にぜひご参加いただき、治療と職業生活の両立支援の取組にお役立てください。

1 会場

【東京会場】

日 時：平成29年5月27日（土）9：00～17：30

会 場：AP東京丸の内 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目1-3
日本生命丸の内ガーデンタワー3階

【大阪会場】

日 時：平成29年7月22日（土）9：00～17：30

会 場：AP大阪梅田茶屋町 〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町1-27
ABC-MART 梅田ビル8F

2 受講料

3,000円(税込み)

3 受講対象者

医療機関に勤務する医療従事者(医師・看護師・MSW等)
その他両立支援に携わる方

4 募集定員

各会場100人(定員になり次第募集締切り)

5 申込み方法

受講希望の方は、労働者健康安全機構 HP <https://www.johas.go.jp/>の受講申込み
バナーより、ご登録ください(4月1日から申込み登録受付開始)。

◇ 研修スケジュール・会場案内図等の詳細については、機構ホームページをご覧ください。(労働者健康安全機構 HP <https://www.johas.go.jp/>)

◇ 今秋10月～11月にも再度、同様の研修を開催する予定のため、同じくホームページを適宜ご確認ください。